

ホームページ掲載文書

呼吸器外科手術における超音波ガイド下脊柱起立筋膜面ブロック（erector spinae plane block:ESP block）の鎮痛効果に関する臨床研究

①対象 呼吸器外科手術を受けられる患者さん

②研究機関名 済生会中津病院 麻酔科

③背景 呼吸器外科手術において、術後の鎮痛は呼吸器合併症を減らし術後回復を促進するために重要な位置を占めています。鎮痛方法としては、硬膜外麻酔という方法が非常に優れていますが、例えば血液をさらさらにするお薬を使用されている患者さんには合併症の危険のため受けていただけません。代替方法として、安全性の高い末梢神経ブロックという方法があります。当院では、エコーの器械を用いて脊柱起立筋膜面ブロックを行っています。脊柱起立筋膜面ブロックは比較的新しい鎮痛方法で、その鎮痛範囲と効果は未だ議論の分かれるところでもあり、他の部位の末梢神経ブロックと組み合わせたり、他の種類の鎮痛薬をたしたりして術後のより高い鎮痛効果を目指しています。

④方法 診療録よりデータを収集します。収集項目は年齢、性別、身長、体重、原疾患（肺癌、気胸、その他）、神経ブロックの種類、使用した局所麻酔薬の種類、量、局所麻酔薬以外の使用鎮痛薬の種類と量、痛みの評価 ICU 入室日数、などです。

⑤意義 呼吸器外科手術における超音波ガイド下脊柱起立筋膜面ブロックの鎮痛効果やその他の鎮痛薬の使用量についてデータを収集し解析を行うことで、より効果的で良好な鎮痛方法を確立することを目的としています。

⑥個人情報の取扱い

個人情報および検査データはすべて匿名化し、個人を特定できる情報の流出がないよう、細心の注意を払います。

この調査は、当院の臨床研究倫理審査委員会の承認を得て行っており、結果は学会や学術誌に報告する予定です。ご自身のデータ使用を希望されない場合は、下記までご連絡をいただければ不同意表明書に署名頂きデータ使用がなされないように対応いたします。その場合においても患者さんが診療上不利益を被ることはありません。

⑦問い合わせおよびデータ使用を希望されない場合の連絡先

済生会中津病院 麻酔科 小澤 満喜子

〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目10番39号 06-6372-0333